



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第26巻
第6号) 編集後記・編集委員・購読
要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第26巻第6号) 編集後記・編集委員・購読要
項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1980, 26(6): 778-778

ISSUE DATE:

1980-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122653>

RIGHT:

泌 尿 器 科 紀 要

第 26 巻 第 6 号

1980年6月

急性腎盂腎炎の臨床的検討

- 150例の成人女性症例……………熊本 悦明・ほか… 643
- 体外腎手術による腎内動静脈瘻の治療……………大島 伸一・ほか… 651
- 膀胱腫瘍の臨床統計的観察……………新村 研二・ほか… 657
- 血清 β_2 -マイクログロブリンと免疫能に関する検討……………細川 進一・ほか… 663
- 静岡赤十字病院における最近7年間の尿路結石症の臨床統計的観察……………新村 研二・ほか… 669
- 腎動静脈瘻を伴った腎腫瘍の1例……………安達 雅史・ほか… 677
- 膀胱癌再発防止法としてのCarboquone と Urokinase の
併用膀胱内注入療法—第1報—……………三崎 俊光・ほか… 683
- 尿路感染症に対する Talampicillin の臨床経験……………日江井鉄彦・ほか… 691
- 急性淋疾に対するトロピン (Spectionomycin dihydrochloride
pentahydrate) One-shot 療法の効果……………園田 孝夫・ほか… 695
- 前立腺肥大症に対する Gestonorone caproate (SH-582) の効果:
投与量と臨床効果に関する検討……………岡田謙一郎・吉田 修… 699

第29回泌尿器科中部連合地方会

〔特別講演〕

尿路結石症に関する検討 特にカルシウム結石を中心として……………八竹 直・郡 健二郎… 709

〔招請講演〕

漢方および漢方薬の科学的検討……………有地 滋… 719

〔シンポジウム〕

- 膀胱頸部硬化症の現況と将来 一序にかえて……………津川 龍三… 725
- 膀胱頸部硬化症の定義および病因について……………山崎 義久… 727
- 膀胱頸部硬化症の病因に関する考察 一慢性前立腺炎との関連について……………浅野 晴好… 731
- 膀胱頸部硬化症の組織学的検討—膀胱頸部の筋発生・発育からみた病因論—……………小出 卓生… 735
- 特別発言…膀胱頸部通過障害の組織像 一小児と老壮年の差異……………大田黒和生… 741
- 膀胱頸部硬化症におけるレ線学的診断法……………勝見 哲郎… 743
- 膀胱頸部硬化症の内視鏡診断……………岡田謙一郎… 747
- 膀胱頸部硬化症・内視鏡的診断……………松浦 一… 753
- 排尿機能検査によるいわゆる膀胱頸部硬化症の診断……………金子 茂男・南 光二… 757
- 超音波診断よりみた膀胱頸部硬化症……………大江 宏… 763
- 膀胱頸部硬化症・特に保存的治療について……………近藤 厚生… 767
- 膀胱頸部硬化症—外科的治療……………佐藤 義基… 773
- 特別発言…膀胱頸部硬化症の診断と治療について……………黒田 恭一… 777



Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M.D.
Department of Urology, Faculty of Medicine
Kyoto University, Kyoto Japan 606.

京都大学医学部泌尿器科学教室

禁 帯 出
到着後1ヶ月間

編 集 後 記

日本語の論文を読んでいて、必要のないのにやたらに英語を使っているのによく出会う。例えば、たまたまいま筆者の机上にある本から引用してみると「neuroblastoma の骨髄転移に対し、cell cycle non-specific な CTX で cytoreduction による recruitment を行い、次に cell cycle specific な AM を投与し効果を得た……」。

下手な日本語より分りやすいといってしまうそれまでだが、こんなにひんぱんに英語を使われると英文を読んでいるような錯覚すらする。ラットをダイコクネズミ、マウスをハツカネズミと書けと主張している大先生もおられるが、そこまで徹底しなくても 必要もないのにむやみに横文字は使わない方がよい。書くなら全部英文にすればよい。(O.Y.)

編 集 委 員

石 神 襄 次	前 川 正 信	宮 崎 重
新 谷 浩	園 田 孝 夫	友 吉 唯 夫
桐 山 啓 夫 (副主幹)	吉 田 修 (主幹)	

購 読 要 項

1. 発行は原則として毎月とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料と 5,000 円 (送料とも) 前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名 (フリガナ)、住所 (雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は 400 字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。稿訳の実費は申し受けず。
4. 英文原稿の場合はタイプでダブルスペース打とし、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, PH などを使用し、は不要です。また BDN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
 - A 雑誌の場合 著者名：誌名、巻数：頁数、西暦年次。(論文題名は自由です)
文献名は正式略称を用いてください。
例：日泌尿会誌、臨床皮泌、皮と泌、泌尿紀要、臨泌；J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
 - B 単行本の場合 著者氏名：書名、版数、Vol.数、p. 数、発行所、出版地、年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付はいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第26巻 第6号	1980年6月25日 印刷	1980年6月30日 発行
創刊 稲田 務	顧問 加藤 篤二	定価 500 円 (送料別)
〒606 京都市左京区聖護院川原町54	京都大学医学部泌尿器科学教室内	電話 (075) 751-3327 (直通)
発行 吉田 修	発行所 泌尿器科紀要編集部	
印刷所 山代印刷株式会社	京都市上京区寺之内通小川西入	
